

目 次

はじめに

例言

第1章 福山市歴史文化基本構想策定の背景と目的 -----	1
1. 歴史文化基本構想の基本的な考え方	1
2. 福山市歴史文化基本構想策定の目的	3
3. 福山市歴史文化基本構想の位置付け	4
(1) 福山市歴史文化基本構想の全体的な位置付け	4
(2) 最上位計画「第五次福山市総合計画」における位置付け	5
(3) その他上位計画及び関連計画	6
4. 策定体制と経過	14
(1) 福山市歴史文化基本構想の策定体制	14
(2) 福山市歴史文化基本構想の策定経過	15
第2章 福山市の概要 -----	18
1. 自然・地理的環境	18
(1) 位置・交通条件	18
(2) 地勢	20
(3) 植生	22
(4) 気候	23
2. 社会的環境	24
(1) 人口	24
(2) 産業	25
(3) 入込観光客の推移	26
(4) 博物館・資料館等	27
3. 歴史的環境	30
第3章 福山市の歴史文化とその特徴 -----	36
1. 文化財把握の方針	36
(1) 総合的把握調査の対象となる文化財	36
(2) 文化財の総合的把握調査の手法	38
(3) 文化財の調査結果の記録・データ管理の方法及び活用の方向	39
2. 文化財の現状と特徴	40
(1) 指定及び登録文化財等の現状	40
(2) 未指定等の文化財の状況	42
(3) 福山市の歴史文化の特徴	45
3. 福山市の文化財の保存・活用の課題	50

第4章 文化財の保存・活用の基本方針	54
1. 文化財の保存・活用の基本理念	54
2. 文化財の保存・活用の基本方針	55
(1) 文化財の調査と価値の共有	56
(2) 文化財の価値の顕在化とまちづくり	56
(3) 文化財を守り、活かし、伝える仕組み・体制づくり	57
第5章 関連文化財群の設定と内容	58
1. 関連文化財群の設定	58
(1) 関連文化財群の考え方と設定方針	58
(2) 福山市におけるモデルとしての関連文化財群の設定	60
(3) 福山市における関連文化財群の概要	62
2. 関連文化財群の内容～ストーリーと構成要素～	68
(1) 福山の原始世界の痕跡	68
(2) 古墳が物語る歴史と文化	70
(3) 街道ともてなし文化	72
(4) 港町と海道の文化	74
(5) 守り、育んできた自然	76
(6) 地域に息づく歴史的な町並みと建築文化	78
(7) 海・山・町の文化的景観	80
(8) 荘園の発達と中世武士の台頭	82
(9) 築城と城下町の形成	84
(10) 干拓地の開発と村の形成	86
(11) 福山の学問・文芸	88
(12) 暮らしに息づく民俗芸能と習俗・伝承	90
(13) 海・山・川の恵みと食文化	92
(14) ものづくりの足跡と引き継がれた地場産業	94
(15) 災害・飢饉に立ち向かった先人の知恵と技の遺産	96
(16) 戦争・戦災の遺跡と復興	98
第6章 歴史文化保存活用区域の設定と内容	100
1. 歴史文化保存活用区域の設定	100
(1) 歴史文化保存活用区域の考え方と設定方針	100
(2) 福山市におけるモデルとしての歴史文化保存活用区域の設定	101
(3) 福山市における歴史文化保存活用区域の概要	103
2. 歴史文化保存活用区域の内容～区域の範囲と特徴～	106
(1) 中央地区（中心市街地及びその周辺）	106
(2) 東部地区	108
(3) 西部内陸地区	110
(4) 西部臨海地区	112
(5) 南部内陸地区	114
(6) 南部臨海地区	116
(7) 北西部地区	118
(8) 北東部地区	120
(9) 北部地区	122

第7章 文化財の保存・活用を推進するための体制整備と取組の展開 -----	124
1. 文化財の保存・活用の取組内容	124
(1) 「文化財の調査と価値の共有」に関する取組	124
(2) 「文化財の価値の顕在化とまちづくり」に関する取組	126
(3) 「文化財を守り，活かし，伝える仕組み・体制づくり」に関する取組	127
2. 保存活用計画作成の考え方	128
(1) 保存活用計画の目的と作成主体	128
(2) 計画を定める文化財等の対象	129
(3) 保存活用計画に定める事項	129
(4) 保存活用計画のタイプ	130
3. 文化財の保存・活用の取組展開	131
(1) 取組展開の基本的な考え方	131
(2) 取組の手順	131
4. 構想・計画の進行管理と推進	133
(1) 構想・計画の進行管理	133
(2) 構想・計画の推進	134